

法人理念	<p>つながり合う関係：ひとは産まれた時からつながり合う関係のなかで安心を築きます。安心は心の安定や発達のエネルギーにとって大切な役割を持っています。</p> <p>支え合う信頼：ひとは安心感を築き合うなかで、信頼関係がはぐくまれ支え合う心地よさを知ります。</p> <p>響き合う共感：ひとは楽しいとき、さみしいとき、しんどいときに理解し合えるひとが必要です。</p> <p>私たち職員は障害のあるひと、支援を必要とするひと、その家族の方々に寄り添い、地域社会との架け橋になれるよう取り組みます。</p>		
あかしゆらんクラブで大切にしていること	<p>あそび（＝活動）の場面でこどもが表出したことに応答し、こどもが受け止められたと実感し、また表出したと思えるように関わります。こども一人ひとりの意思表示を理解し、その意思が、言葉やそれ以外の方法で表出されるように工夫し「意思表出支援」をしていくと同時に、様々な経験を通して「意見形成支援」を積み重ね、こどもが自ら判断し行動できるように支援します。そのために、こどもの発達に応じた多彩なあそび（＝活動）を準備するとともにこどもが安心できる環境の中で自ら選択したあそび（＝活動）を行い、つまずきや失敗があっても主体的に解決していくプロセスを共有・共感し「生きることは楽しい（他者とつながることは楽しい）今の自分に生まれてよかった」と生きることを肯定的できるおとなに成長し巣立っていけるように願っています。また、保護者や関係機関と連携し、試行錯誤しながら「こどもの最善の利益」を守るように取り組みます。</p>		
支援方針	こどもの最善の利益を保証（こどもが主体）		
営業時間	9時～18時	送迎実施の有無	車の送迎は無・徒歩での送迎有（通所自立支援）
	支 援 内 容		
本人	健康・生活	・基本的な生活スキルの獲得【手洗い・うがいなどを通して体を清潔にできる・体温計測、記録、体調の変化に気づき体調管理ができる・持ち物の整理・整頓、食育（おやつづくり）・あいさつなど】避難訓練	
	運動・感覚	・制作・おやつづくり・体操・ダンス・サーキット・公園遊び・ドイツゲーム	

支 援		・チャレンジプログラム（ボディイメージや他者との協力を目的に内容を毎月考え実施）
	認知・行動	・スケジュール確認（時間概念の習得）・ドイツゲーム（空間・数等の概念習得・ルールの確認）・おやつづくり ・SST（例えば「おもちゃの貸し借り」場面についてロールプレイ手法で、職員がこどもに提示し意見を交換し合う）
	言語 コミュニケーション	・登所時、帰る前の連絡帳記入時に職員とやりとりをする・スケジュール確認時に本人の希望を聞き相談する ・集団遊びの中での他児とのやりとり（鬼ごっこやドッジボールなどのルールのある遊び） ・こどもの意見を聞く（おやつ・あそびのリクエスト） ・ドイツゲーム
	人間関係・社会性	・ドイツゲーム（ルールを守って遊ぶ）・気持ちのワーク（自分の気持ちを表出する）・おやつづくり ・長期休暇には、公共交通機関を利用して遠足に出かける（マナーやルールを知る機会）
家族支援		ペアレントトレーニング・リフレッシュタイム・子育てサポート
地域支援・地域連携		医療関係・保育所・幼稚園・学校などと情報共有して連携を図る
移行支援		特に、行事などのときには保育所・幼稚園・学校などと連携をとり、説明の方法や促し方を伝える
職員研修		新人研修・虐待防止・人権擁護・身体拘束等の適正化・感染予防・BCP研修の他に毎月、職員会議の中で、ケース会議を実施。外部からの研修にも積極的に受講。必要に応じてリーオン・ミーでの研修を実施している
主な行事等		・お正月（お正月遊び、初詣）・豆まき・ひな祭り・お別れ会・歓迎会・こどもの日・夏休み（工作・映画会・遠足など）芋ほり・ハロウィン・ゆらんこまつり（保護者、学校の先生、地域の方々を招待する）クリスマスなど